

【緩和ケア病棟での治療について】

1. 一般病棟と何が違うのですか？

当院の緩和ケア病棟では、手術や抗がん剤治療など、悪性腫瘍(がん)そのものに対する治療を終えた患者様を対象としています。苦痛緩和のための治療を、専門的な知識・経験をもって行いながら、落ち着いた環境で穏やかに過ごしていただきます。

2. 点滴はしてもらえますか？

緩和ケア病棟だから点滴はしない、ということはありません。ご本人、ご家族と相談しながら、ご希望に応じて対応いたします。ただ、一般的にがん終末期患者様の場合、食事がとれないからと点滴を行うことで、かえって 胸水・腹水が増え、浮腫が悪化し、痰が増えるなど、苦痛が増してしまうとされています。点滴の利点・欠点を考えながら、行うにしても適切な量・中身で実施することが、苦痛緩和のために重要だと考えています。

3. 内科的な治療や検査はしてもらえますか？

苦痛緩和に必要な治療や検査を行っています。例えば、肺炎を合併された場合は、苦痛緩和に必要な必要であれば抗生物質の投与など行います。ただし全ての治療や検査は、患者様の負担を考え、患者様やご家族のご希望を伺いながら行っています。

4. リハビリは受けられますか？

終末期のがん患者様であっても、残された身体機能を少しでも維持したいという希望を支えるために、理学療法士・作業療法士などがリハビリを行うことができます。ご自宅に帰りたいというご希望がある方は、自宅療養を意識した訓練を行います。

5. 入浴できますか？

お風呂でお身体を綺麗にすることは、緩和ケアにおいても非常に大切なケアだと考えています。緩和ケア病棟には、寝たままでも入浴できる設備がありますので、病状に応じて主治医の許可があれば、入浴することができます。

6. 代替療法は行えますか？

標準的ながん治療ができない病状であったとしても、少しでも元気で過ごしたいという希望は尊重したいと考えています。患者様やご家族の希望に応じて代替療法,民間療法は行えますので、そのつどご相談ください。ただし、原則としてご自身の責任で行っていただきます。

【緩和ケア病棟入院について】

1. 入院の条件は何でしょうか？

抗がん治療を終了されている方で、延命治療・急変時の蘇生処置を希望されず、苦痛緩和のための治療を受けたいとお考えになっていることが前提となります。ご本人だけでなく、ご家族の皆さまも同様のお考えを共有されるようお願いしています。その上で、ご本人が緩和ケア病棟への入院を希望されていることが条件となります。

2. がん告知は必要ですか？

患者様ご本人の認知機能に問題がない場合は、基本的に悪性腫瘍(がん)であることの告知は必要ですし、緩和ケア病棟へ入院するためには「治らない病状」であることの認識もお願いしています。ただ、重度の認知症の方や、意識障害がある方の場合、絶対ではありませんのでご相談ください。

3. 入院の順番はどのように決まりますか？

緩和ケア病棟入院をご希望される患者様の中から、緩和ケア病棟判定会議を経て入院の順番を決定しています。判定会議では、①緩和すべき苦痛症状があること、②予後が1～2か月以下と想定されることなどを判断材料としています。

4. 生活保護を受けていますが入院できますか？

生活保護受給を理由にお断りすることはありません。ただし、生活保護を受けている方の場合、差額ベッド代のかからない部屋(2床室)に入院いただくことになります。

5. 認知症でも入院できますか？

認知症だからといってお断りすることはありませんが、緩和ケア病棟では過度な身体拘束を行いませんので、徘徊や大声を出してしまう方の場合、難しいこともあります。そのつど、ご相談ください。

6. 永寿総合病院の他診療科に入院していますが、緩和ケア病棟へ転床できますか？

外部の患者様と同様に、外来受診・判定会議を経て、同じ条件で受け入れています。ご希望の方は、まず主治医や病棟看護師にご相談ください。

7. 一度入院したら、もう家には帰れないのでしょうか？

緩和ケア病棟では、病状が落ち着き、ご自宅に退院される方もいらっしゃいます。患者様、ご家族の希望に合わせて、退院・外泊・外出ができるようお手伝いいたします。退院される場合は、当院緩和ケア科と連携可能な往診医、訪問看護ステーション等のご紹介、介護保険申請のお手伝いなどを行います。

8. 差額ベッド代のかからない部屋を希望していますが？

緩和ケア病棟で差額ベッド代がかからない部屋は2床室となります。病状が安定されている場合は、2床室へ入っていただくことができますが、同室者へ影響を与えてしまう病状の方や、予後数日と想定される方の場合は、個室(差額ベッド代がかかります)への入院をお願いすることもあります。2床室へ入院されている方でも、病状の変化に応じて、個室(差額ベッド代がかかります)へ転室いただく必要があります。